

令和8年度（春）宮崎大学公開講座

「源氏物語

～手習巻(序盤)を読む～

集中講義予定

会場：錦本町ひなたキャンパス

「源氏物語 ～手習巻(序盤)を読む～」とは、

手習巻は、大事件と呼べるものは二つ三つしかないのですが、それを繋ぐ浮舟の心の変化が重要なため、初の三回講座にしてみました。今回はその第一回、浮舟生存の場面を中心にお話しします。

前回の蜻蛉巻で、あれだけ大騒ぎをして死んだことにした浮舟は、実は生きていました。その辺りで推測される事情は、前回の講座でお話ししましたのでここでは繰り返しません。それを裏付けるかのように、紫式部と同時代に実在し、式部も信奉したと言われる僧・源信がモデルとされる横川の僧都、その妹の尼（名前が書かれていませんので、通称・妹尼と呼ばれます。因みに源信の妹は安養尼（あんように）と呼ばれる、慈愛で有名な尼僧です）、その娘婿の中将と、新登場人物がてんこ盛りです。まさにここから「新たな物語」が始まるのです。それゆえ何もお話ししていない第一回で、物語内容の予告をするのは難しいのですが、皆様にお考えいただくために一つだけお話ししておきますと、新登場人物の一人の官職が「中将」であるということです。

この時点で薫は大将に昇進しているため、勿論彼のことでありませんが、薫は長らく「中将」と呼ばれていたため、「中将」と聞くとどうしても彼を思い出してしまうというのは、元聖心女子大の教授であった原岡文子が指摘した事実で、今はほぼ「定説」となっています。その薫を思わせる呼称を持つ「中将」が浮舟に近づいてくる。そのことが浮舟の心理に如何なる影響をもたらすか。それが浮舟の心情変化が大事といった所以です。

皆さんもぜひお考えください。



講師：宮崎大学名誉教授
博士（文学） 山田 利博

	期 日	内 容
第1回	令和8年6月6日（土） （10:30-12:00）	浮舟、発見さる
第2回	令和8年6月6日（土） （13:00-14:30）	浮舟、回復
第3回	令和8年6月7日（日） （10:30-12:00）	手習の日々始まる
第4回	令和8年6月7日（日） （13:00-14:30）	妹尼の娘婿、中将現る

◆受講方法

1. 4月15日(水)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間：9：00～16：00（土日・祝日は除く）

電話：0985-58-7188 FAX：0985-58-7974

E-mail：chiikijinzaï@miyazaki-u.ac.jp

※申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。



2. 受講申込（仮予約）がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

◆受講料：3,000円（全4回分・消費税込）

◆入金期日：申込日より1週間

◆振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学（ダイ）ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注）銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

※受講料について

- ① 受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。
- ② 銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。
- ③ 受講料は返還できませんのでご注意ください。